

## 多治見市交響楽団 20 周年記念演奏会(2009.11.22)アンケート集計

(注) 当然ながらアンケートは観客全体を代表してはいない。アンケートに回答して下さる方は後援会会員をはじめ、ほとんどの場合好意的にとらえてる方が多い。このため、回答は選択肢・自由記述いずれも偏った結果であるということを前提に考えておく必要がある。但し、逆に言えば良くも悪くも評価して頂いている方の意見が反映されているとも言え、内容は上述の前提をふまえた上で尊重する必要がある。

なお、集計には集計者が意識せずともある程度の意図が反映されていると考えてよい。このため、ここでは集計までとし、今後の方向については、今後の団員のご意見やそれをふまえた役員会に委ねたいと考えている。

### アンケート回収率

来場者約 800 名に対してアンケート回収 155 枚で約 19%の回収率

### 選択肢質問事項の回答まとめ

質問「今日の演奏会を何でお知りになりましたか」

回答選択肢 ①新聞記事 ②街頭ポスター ③後援会会報 ④文化会館などの公共施設 ⑤団員 ⑥後援会会員 ⑦その他

複数回答があり、回答件数は 172 件。複数回答は 12 人で、最大 5 項目回答があった。

以下の主要三分類で 6 割を占める。

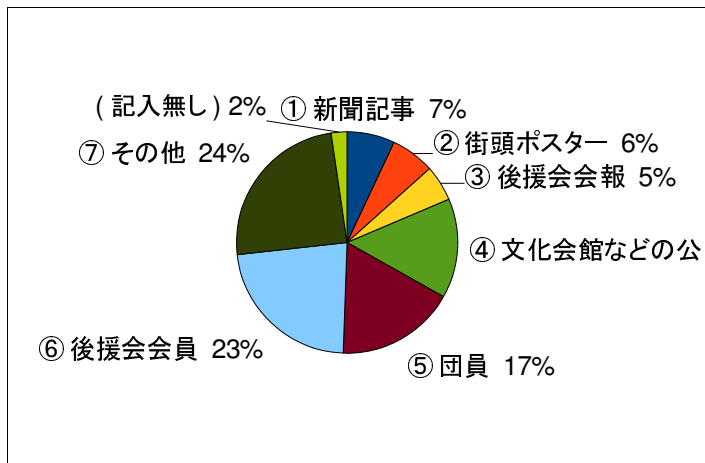
後援会のご協力(③と⑥) 28%

団員から(⑤) 17%

文化振興事業団のご協力など(④) 15%

なお、「⑥後援会会員」にはご本人が後援会会員である場合と後援会会員からの案内の二つが考えられる。

「⑦その他」の主な内訳は、知人・友人・家族(38%)、ジュニアオーケストラ(14%)、ソリスト関係(7%)で、その他では「公演案内のハガキ」や「チラシ」、後援会関連や招待状などが含まれる。これらは主には上記主要三分類の延長でとらえられる。



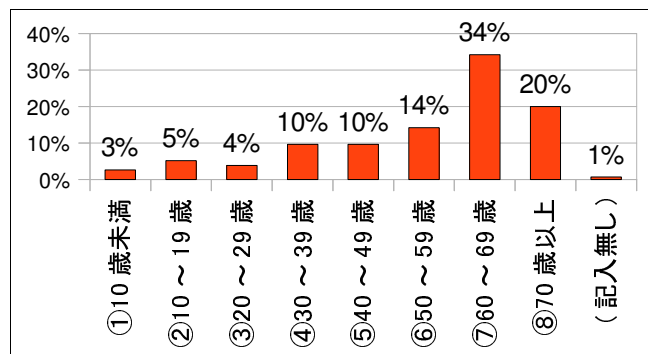
また、複数回答が 7%あり、新聞やポスターで合計 13%あること、「初めて聴きに来た」というコメントもあることから、主要三分類以外でも、(1)動員数の底上げ、(2)複数手段による効果、で寄与があったと言える。

質問「あなたの年齢をお聞かせください」

回答選択肢 ①新聞記事 ②街頭ポスター ③後援会会報 ④文化会館などの公共施設 ⑤団員 ⑥後援会会員 ⑦その他

60 歳代以上の方が半数以上。「今日の演奏会を何でお知りになりましたか」という質問についての回答とリンクする部分が多いと考えられる。

年齢記入があった方で、最高齢は 96 歳。

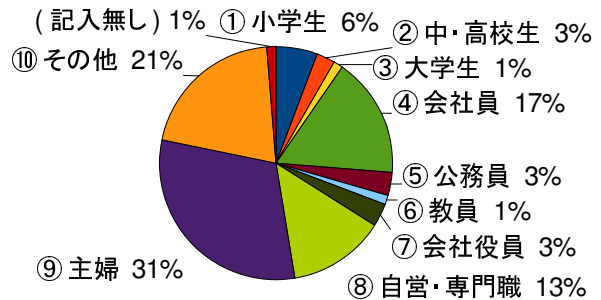


質問「あなたのご職業をお聞かせください」

回答選択肢 ①小学生 ②中・高校生 ③大学生 ④会社員 ⑤公務員 ⑥教員 ⑦会社役員 ⑧自営・専門職 ⑨主婦 ⑩その他

「⑨主婦」が3割で圧倒的多数。次いで「④会社員」、「⑧自営・専門職」の順。

「⑩その他」では、記入のあった8割(全体で10%)が定年あるいは無職であり、年齢層をほぼ反映している。



質問「どちらからお越しになりましたか」

回答選択肢 ①多治見市 ②土岐市 ③瑞浪市 ④可児市 ⑤春日井市 ⑥瀬戸市 ⑦名古屋市 ⑧その他

当然かもしれないが、「①多治見市」が58%と最多。逆に言うと、4割という少なくない方々が市外から来ていただいた。

その中でも県内近隣の「④可児市」「③瑞浪市」「②土岐市」のが多治見市以外のうち約半数の計17%を占める。多治見市と合わせれば合計で75%である。多治見市と合わせて県内近隣市町村から来て頂いた方が多い傾向である。後援会や文化振興事業団のバックアップが多いこと、団員の居住地の関係からの結果と考えられる。

「⑧その他」の内訳は以下

岐阜県 7人 (中津川、各務原、下呂、恵那)

愛知県 8人 (豊田、刈谷、小牧、一宮、東海、三好、清須)

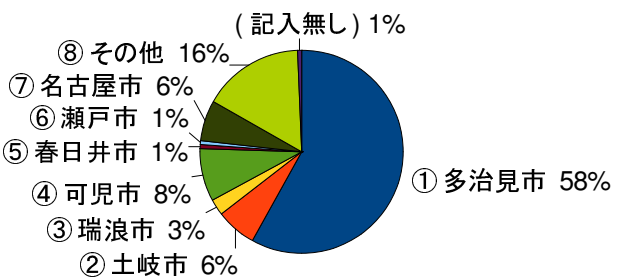
その他 三重県 3人 (桑名、四日市)

兵庫県 2人 (尼崎)

東京都 2人

広島県 1人

岐阜県はやはり比率的には多いが、春日井市と瀬戸市が各1人に比べると愛知県は遠方からの来場者が多め。



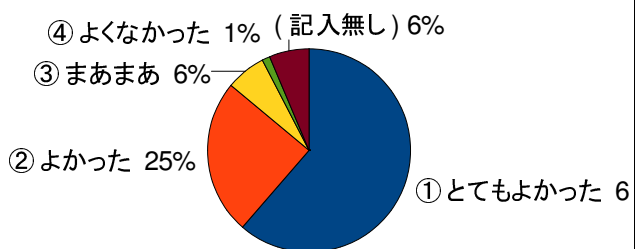
質問「今日の演奏会はいかがでしたか」

回答選択肢 ①とてもよかった、②よかった、③まあまあ、④よくなかった

アンケートに回答して頂いたことから評価はいい方向に偏っており、「①とてもよかった」が61%である。

明確に「④よくなかった」にチェックを入れたのは2人。一方で、「①とてもよかった」にチェックしていても感想として厳しい評価もあった。コメントについては後述のコメント集計を参照。

なお、曲毎での評価が異なるためか、複数回答が3人からあった。曲目毎で評価とコメントをしていただいたほうがいいかも知れない。また、部分的にしか聴けない方もいるであろう。



## 第19回定期との比較

第19回定期の簡易集計も行い、以下に比較を試みた。なお、第19回はアンケート集計数101であった。

質問「今日の演奏会を何でお知りになりましたか」

「⑥後援会会員」の比率が10%あがっており、後援会会員の増加や後援会の方々の努力が今回大いに寄与したと考えられる。「③後援会会報」も同様。他には、「①新聞記事」が前回に比べてだいぶ注目を集めた。相対的に、「④文化会館などの公共施設」「⑤団員」の比率が下がっているが、後者は半減しているが、あくまで相対的な比率である。

	第19回	第20回
①新聞記事	1%	7%
②街頭ポスター	5%	6%
③後援会会報	2%	5%
④文化会館などの公共施設	20%	15%
⑤団員	35%	17%
⑥後援会会員	13%	23%
⑦その他	22%	24%
(記入無し)	3%	2%

質問「あなたの年齢をお聞かせください」

前回・今回とも60歳代の比率が一番高いのは変わらない。やや高齢寄りにシフトしているが、大きな変化とまでは言えないと思われる。

	第19回	第20回
①10歳未満	4%	3%
②10～19歳	7%	5%
③20～29歳	8%	4%
④30～39歳	3%	10%
⑤40～49歳	12%	10%
⑥50～59歳	21%	14%
⑦60～69歳	32%	34%
⑧70歳以上	12%	20%
(記入無し)	2%	1%

質問「あなたのご職業をお聞かせください」

こちらも大きな変化は見られないと言ってよい。主婦の比率がやや上がっているのは、年齢層が少し変化していることと同期していると考えていいかと思われる。

	第19回	第20回
①小学生	9%	6%
②中・高校生	2%	3%
③大学生	1%	1%
④会社員	19%	17%
⑤公務員	4%	3%
⑥教員	1%	1%
⑦会社役員	2%	3%
⑧自営・専門職	16%	13%
⑨主婦	28%	31%
⑩その他	16%	21%
(記入無し)	3%	1%

質問「どちらからお越しになりましたか」

大きな変化は無く、①から④までで75%を占めるのは全く変わらず。但し、後援会の寄与があったためか、多治見市の比率は上がっている。

	第19回	第20回
①多治見市	51%	58%
②土岐市	9%	6%
③瑞浪市	3%	3%
④可児市	12%	8%
⑤春日井市	1%	1%
⑥瀬戸市	0%	1%
⑦名古屋市	4%	6%
⑧その他	19%	16%
(記入無し)	1%	1%

質問「今日の演奏会はいかがでしたか」

大きな変化は無いと言える。年齢層や在住地域に大きな変化が無いほか、演奏も格段に良かった、ということは無かった模様。但し、後述のコメント集計からもコンチェルトについては評価が良く、良い評価にはコンチェルトのソロに言及されている場合が多い。また、辛口の評価をされた方でもアンコールはいい評価をしており、今回はドッペルのソロとアンコールで何とか前回並の評価であったと考えたほうが良い。

	第19回	第20回
①とてもよかった	58%	61%
②よかった	28%	25%
③まあまあ	6%	6%
④よくなかった	0%	1%
(回答無し)	8%	6%

## 質問「具体的にどんなところが良かった(悪かった)ですか」

質問への回答数は93人の方から寄せられている。演奏に関するコメント以外は最後の質問項目に集約し、ここでは演奏に関してまとめる。

曲別と全体についてよかったというコメント(評価)とよくなかったというコメント(ご批判)の数を集計してみたところ、以下となった。比率は上記回答数93を母数とした、複数回答の結果である。

<評価>	仮面舞踏会	13件	14%
	ドッペルコン	37件	40%
	ブラ2	8件	9%
	アンコール	16件	17%
<ご批判>	演奏会全体	39件	42%
	曲別+全体	14件	15%

ドッペルが圧倒的に印象に残った模様で、「20周年記念演奏会」のメインに位置づけていいドッペルコンの評価が高かったことは、企画・構成として成功したと言ってよい。

以下、曲別・全体についてのコメントを抜粋する。特定のパートへの評価ないし批判はここでは割愛した。

### <仮面舞踏会>

演奏そのものにも評価はいただいているが、曲の知名度から「聴きたかった曲が聴けた」、「生で聴けた」ということでご満足いただいた点もある。

- 「仮面舞踏会 初めて聞いたが楽しい曲だった」(50代、公務員)
- 「ハチャトゥリアン：色彩豊かで楽しい楽曲をそのまま楽しめた」(50代、自営・専門職)
- 「ハチャトゥリアン組曲「仮面舞踏会」もアンコールで聴くことが多く、全曲は初めてでしたが、リズムのメリハリがきいてとても楽しくきました。」(40代、教員)
- 「仮面舞踏会 大曲、後方で聴いていましたが、音の広がりやバランス good」(60代、自営・専門職)
- 「1曲目はフィギュアスケートの浅田真央さんがフリーで使っている曲でなじみがあった」(40代、会社員)
- 「聴きたかった「仮面舞踏会」を生で聴けた喜びです」(50代、自営・専門職)
- 「仮面舞踏会がお気に入りだったので、生演奏が聞けて良かった」(20代、大学生)

### <ドッペルコン>

当然ながら、ソリストへの評価が非常に高いコメントが多い。知名度的にはアンコール含めた他の曲に比べれば低いですが、一番評価が高かったのは、やはりソロの演奏が非常に素晴らしかったお陰である。しかし、指揮者やオケについても評価をいただいております、オケもそれに応えるような演奏ができたと言っていい。

- 「ブラームス バイオリンとチェロのための二重協奏曲 初めて聴きましたが、ヴァイオリンとチェロの見事なアンサンブルに、目と耳が釘付けになりました」(40代、教員)
- 「ブラームスのヴァイオリンとチェロの掛け合いは本当にすばらしかったです」(40代、主婦)
- 「若いお二人のソリストの演奏がとてもみずみずしかったです」(40代、主婦)
- 「ゲストお二人のアンコールの曲は特に良かった」(60代、主婦)
- 「バイオリンとチェロのデュエットが良かった。力強く、若い方の音だなと感じました」(60代、主婦)
- 「二人のソリストの演奏が見事で、重厚なオーケストラの音と共に、ブラームス独特の世界を表現されて、感動しました」(50代、会社員)
- 「ソリストの音の響き、かけ合いが、とても良かったです。オーケストラも良く頑張っているのが見受けられました」(60代、主婦)
- 「協奏曲の独奏者とオーケストラとがよくマッチングしていました。すばらしい演奏ありがとうございました。オーケストラがよくうたっていました」(50代、会社員)
- 「二人のソロによる演奏は秀逸でした。オーケストラの音も、ベストでした」(60代、自営・専門職)

### <ブラ2>

楽章別では、2楽章の評価が1件、3と4楽章が2件あった。それ以外では木管などのパートについての評価はあるものの、演奏全体についてはあまり具体的な表現は見られなかった。1件を取り上げておく。

「交響曲第2 以前を思うと随分まとまり、皆様の成長を感じます。楽しく聞けてありがとうございました」(60代、自営・専門職)

### <アンコール>

この曲も知名度という点では評価に結びついたようだが、辛口の評価をされた方でもアンコールだけは評価していただいた場合(以下の最後2件)もある。

「最初と最後、知っている曲だった」(10代、小学生)

「アンコールのハンガリー舞曲がよかった」(50代、主婦)

「やはりリラックスしたアンコール曲がとてもよかったです」(50代、会社員)

「アンコールのひびきが一番よかったよ。全曲でこのひびきがきけたら最高なのにもったいない」(30代、会社員)

「アンコールはよかったデス」(40代、教員)

### <全体的な評価>

ご意見は、リピーターの方、久し振りに来て頂いた方、初めての方などさまざまな方からいただいているが、やはり身近で生演奏を聴けること、進歩しているという評価などが見られた。

「久し振りにきましたが、とても感動しました」(70歳以上、主婦)

「創立時から聞いているが、だんだん良くなってきた」(60代、その他)

「クラシックをCDで聴くことはあっても生演奏はあまりないので感激しました。やはり迫力が違います」(70歳以上、主婦)

「初めて聴かせていただきましたが、とてもよかったです。」(50代、主婦)

「初めて生のオーケストラ演奏を聞きました。やっぱり迫力が違います」(30代、公務員)

「身近で聞くことができた」(50代、会社員)

「普段オーケストラを生で聴く機会が無いので、とても素敵な時間を過ごすことができました」(40代、主婦)

「地元でオーケストラが聴ける事」(70歳以上、その他)

「演奏曲目が分かりやすかった」(60代、その他)

「プログラムの組み方がよかった」(70代、その他)

「プログラムの紹介がわかりやすかった」(40代、その他)

なお、指揮を振っていただいた平光先生についても、ご感想が寄せられている。ソリストともども好評であった。

「前向きな精神、選曲、何よりソリスト、指揮」(20代、大学生)

「昨年に続き素晴らしい演奏で、音質にも深味が有り、アンサンブルも絶妙でした。指揮もていねいで聞き易かったです。」(60代、自営・専門職)

「全体のバランス、各々のパート、特にソロ部分も良かった。指揮も。／二曲目まで。」(60代、自営・専門職)

「コンダクター平光氏、すばらしかった」(60代、自営・専門職)

「若手の平光さんの指揮ぶりもメリハリがあって良かったですね。多治見交響としばらくつきあって下されば。→(父親を越えてください)」(60代、自営・専門職)

### <批判としてのご意見>

当然ながら批判的なご意見や改善が必要な点もご指摘頂いており、そのうちでオケ全体について今後の反省および検討材料として抽出しておく。

「ブラームス2番の出だし不安定」(60代、その他)

「ブラームスじゃない」(30代、主婦)

「3曲目の最後のブラームスは...ちょっと。もっときれいな曲ですよ...」(40代、自営・専門職)

「オーケストラとしての迫力が乏しかった」(60代、会社員)

「ブラームスの波うつようなところ、ピアノシモで、ふぞろいなど」(60代、その他)

「(ドッペルで)ソロとオケのバランスとか主張がもう少し合うとよかった」(40代、会社員)

「欲言えば演奏者にもう少し笑顔が欲しい」(60代、会社員)

「分かりにくいというか、知らない曲ばっかだったから」(10代、小学生)

## 質問「今後どのような曲がお聴きになりたいですか」

個別の記入件数は127件。曲目あるいは作曲者指定が79件、クラシックで曲の形式指定が12件、その他36件であった。

曲目あるいは作曲者指定では、ベスト5を挙げると、以下である。これだけでこのカテゴリーの54%(79件中43件)を占める。

ベートーヴェン 18件

作曲者のみ指定が6件、ベト7が4件で最多

モーツァルト 10件

作曲者のみ指定が5件、「アイネ・クライネ...」が2件

ブラームス 5件

交響曲1番が2件。「ハンガリアン・ダンス全曲」も1件ある。

バッハ 5件

「バッハなど古典ものもよいかと存じます」(60代、自営・専門職)という意見もあった。

ビゼー 5件

なぜかすべて歌劇「カルメン」あるいは単に「カルメン」で、今回の「仮面舞踏会」と同じような背景がありそう。

その他では「モルダウ」あるいは「わが祖国」のみのスメタナ 4件、シベリウス 3件、ドヴォルザーク 3件など。

クラシックで曲の形式指定としては、ピアノ協奏曲が3件で最多。次がヴァイオリン協奏曲、オペラで各2件。その他、「声楽」、「声楽の入った宗教曲」「日本の作品(交響曲)」という声もあった。「声楽」というのは、コーラス系の方の意見の可能性があるが、市民音楽祭でコーラスと合わせるのは、ちょうどいいかと思われる。

その他の意見は当然ながら多岐にわたる。単に「クラシック」というのもあれば、「おまかせ」「POP」「邦楽」「軽音楽」という声まである。だが、もっとも多い意見としては、「なじみのある曲」「聴きなれた曲」「分かりやすい曲」といった意見が多く、22件に達する。具体的には以下のような意見があった。

「もう少しポピュラーなもの」(60代、自営・専門職)

「耳慣れたクラシック曲」(70歳以上、その他)

「聞きなれた曲をできるだけ多くの曲を」(70代以上、会社員)

「多くの人に親しまれているクラシック音楽」(60代、その他)

「有名な曲など、よく耳にする曲がいいです」(40代、主婦)

「『のだめカンタービレ』でやっていた曲など、知名度の高い曲」(10代、中・高校生)

「NHK大河ドラマ、たとえば「篤姫」テーマ音楽など」(60代、その他)

「もう少し短い曲で、素人でもわかる曲を、5曲位中間に入れてみてはどうでしょうか」(60代、自営・専門職)

「ファミリーコンサートのなものも企画していただけたら嬉しいです。子どもたちの耳慣れた曲(ex. NHK教育ゆうがたクインテットなどの中に登場する大人も懐かしく...)」(40代、教員)

「以前の子供バレエ団との共演等」(70歳以上、会社員)

「子供達にもわかりやすい曲もとり入れていただければ」(70歳以上、主婦)

「小品も交えて演奏されると、子供やクラシックになじみのない人達にも分かりやすく、クラシックファンが増えるのでは?」(60代、自営・専門職)

「なじみのある」「聴きなれた」「分かりやすい」「親しまれている」「有名な」というタームが多いが、この他に、「子供」もキーになりそうである。アンケートを集計していると、夫婦でいらっしゃっている方他に、お孫さんといらっしゃっている方もいて、連れてきた方としては、やはり子供にも興味を持たせるような選曲を希望されていらっしゃる感じがする。

その他の意見では以下。考えてみるとずいぶん重い意見もあった。

「多治響独特の音色を生かした曲を選んで(本日とても良かった)」(60代、自営・専門職)

「弦楽器の迫力が聞けるような曲がいいです。(ブラ2の迫力がもっとほしい)」(60代、教員)

「重量感のある曲やニューイヤークンサートの軽快な曲をまじえたステージを。」(60代、自営・専門職)

「生活にうるおい、いやし?、バイタリティを持たせるような曲」(60代、会社員)

「いろんな形の演奏会を楽しみにしています」(50代、公務員)

## 質問「今回の演奏会や多治見市交響楽団の活動についてご意見をお聞かせください」

質問と回答は錯綜している場合もあるが、ここでは、演奏そのもの以外について中心となっているご意見をピックアップした。ご声援とご要望という分類でまとめる。ご声援は取捨選択をするのは心苦しいのであるが、代表的と思われるものに絞った。「楽しみにしている」、「初めて聴いたがよかった」、「今後も期待している」といった声があった。叱咤激励含めたご要望については重複していても、できるだけ掲載した。この中にはオケだけでは対処しきれないところもあるが、参考とするために抽出してある。

### ご声援

「オーケストラいつもすばらしいです。たのしみにしております。いつも有難うございます(練習も大変なことと思えます)」(60代、自営・専門職)

「20周年おめでとうございます。年を重ねる毎にレベルも高くなり、コンサート楽しみです」(60代、自営・専門職)

「招待状頂きありがとうございます。初回からずっと聞く機会に恵まれ年々素晴らしくなって来て本当に嬉しく喜んでます。今後のご発展増々期待しています」(70歳以上、会社員)

「ご活躍を祈念いたします。団員の皆様お疲れ様でした」(60代、その他)

「来年もたのしみにしています」(30代、主婦)

「創立以来大いに期待している」(70歳以上、その他)

「大変頑張って下さって有難う。今後も低料金で楽しませて下さい」(60代、自営・専門職)

「大変いい楽団です。がんばって下さい」(60代、その他)

「これからも素敵な演奏をお願いします」(40代、主婦)

「これからもぜひ永く続けていただければ幸いです」(70歳以上、主婦)

「このような活動が今後も続けてほしいと思います」(10代、小学生)

「このチャンスをありがとう。また次回も来られますことを念じます」(70歳以上、会社員)

「初めて演奏を聴かせて頂きました。フル編成のオーケストラがあることを知りました。ご発展を祈念し、楽しみにいたしております。」(60代、主婦)

「初めて聞きに来たけどよかったです」(20代、その他)

「地元にはオーケストラがあるのは、昔は考えられませんでした。多治見生まれの僕にとって嬉しいことです」(60代、自営・専門職)

「ありがとうございます。今後も東濃地域の唯一のシンフォニー楽団としてご活躍いただく事を切にお願い申し上げます。来年は多治見市市制70周年を迎えます。是非記念コンサートを!」(60代、自営・専門職)

「多治見で質の高い音楽を聞くことができうれしく思っています。これからもがんばって下さい」(50代、自営・専門職)

### ご要望その他

「入場料を取る以上はもっとレベルを上げて欲しい」(60代、会社員)

「団員が少し少なくなった感じ。文化の灯を消さぬように」(60代、その他)

「難しい点はプロでも難しいものです。いろんな曲に是非向かっていってください」(50代、会社員)

「難しい曲をよくやりました。うまくなるためには情熱をもって、練習今の2倍はやるといい。最近の技術は低下しているような気がします。練習あるのみ。甘えるな、地方都市の競争なり、他の都市で出かけていくような気持ちをもってがんばって下さい」(60代、その他)

「もっと音楽を楽しんでいることを体で表すと良いと思います。全体におとなしいし、上手く、こじんまりとまわってしまっています。アマチュアの良いところをもっと前面に出したらいいと思います」(50代、公務員)

「演奏会の回数増やして下さい」(30代、会社員)

「子供も楽しめる(音楽を)コーナーを作ってほしい。家族揃って楽しめる様になればいいと思う」(60代、主婦)

「司会者があって、時折解説をしていただけるといい」(60代、主婦)

「演奏前にプログラムの簡単な説明があると有難いですが?」(60代、その他)

「又、地元出身のソリストとの協演を!」(60代、その他)

「どんどんソリストをよんで公演して下さい。パワーアップしてました。(もちろんオケだけでもすごよかったです!! ソロのときのひきしまり具合がよかったです。きっと素敵な楽団になります)」(20代、自営・専門職)  
「20周年を記念して交響楽団としてそのシンボルとなるロゴを作られたら如何でしょうか」(60代、その他)  
「下呂市にも来春ホール(800席)完成予定ですので、合宿・地方公演にどうぞ」(40代、教員)

「不況の折、市民の支援が大切と思われます。ピーアール活動も必要ですね。そのためにもよい演奏を続けて下さい」(60代、自営・専門職)

「もっと多くの人に聞いてもらいたい」(60代、その他)

「経費的大変かと思われるが、もっと宣伝して個人会員を増やすとよい」(70歳以上、その他)

「後援会の方々ご苦労様と思いますが、今後もずーと続けていただけたらと思います」(70歳以上、主婦)

「市民の協力が大切だと思います」(70歳以上、自営・専門職)

「12万人程度の人口でこれだけのオーケストラは素晴らしいことです。もっと市民広報にPRし、参集していただきたいものですね。難曲や親しまれているワルツ、行進曲等入れて、子供達にも聴かせたいものですね」(60代、自営・専門職)

「ジュニアを育てて欲しいです」(50代、会社員)

「ジュニアオーケストラとかかかわって、育ててください。一緒に演奏してほしい」(50代、主婦)

「しょうめんの黒のカーテンがゆれてきになった。右がわ」(70歳以上、その他)

「ホールの駐車場が少なすぎます。改善して下さい」(30代、会社員)

「駐車場に限りがあるのだから、もっとたくさん停められるよう(昨年までのように)しっかりつめこんでほしい。今回駐車できず困っている人が多くみられた」(30代、会社員)

「曲中の客席移動、アメなどの飲食、私語など客の演奏マナーも向上できれば嬉しい」(20代、大学生)

「演奏中での入出場はやめてほしい」(60代、その他)

「ロビーに差し入れを置いてありますが、どなたか受け付けをきちんと付けた方がよいのでは...そんな悪い人はいないと思いますが、ちょっと気になりました」(40代、主婦)

## 付記

アンケートで回答頂いた範囲として、以下に簡単にまとめてみる。

選択肢の回答からは、多治見市を中心とする近隣からのご来客が多く、年齢層的には60歳以上で、主婦や定年後の方、自営・専門職の方が中心となっている。昨年との違いでは、演奏会の情報源として、後援会関係と新聞記事が伸びている。

演奏への感想では、ソリストのお陰が大きく寄与してドッペルがもっとも評価がよかった。他に知名度の高さもあり、仮面舞踏会とアンコールもいい評価が聞かれた。ブラ2については、これらの間にあって、相対的に評価が落ちた、という感じでは無い。この評価があまりよくなかった理由は考察が必要である。

今後演奏会で取り上げてほしい曲としては、「聴きやすい曲」、「馴染みのある」ようないわゆる名曲が多いが、今回の評価をもとに考えると、名曲だからいい演奏ができて、評価が高いとは限らないことが分かる。演奏会全体を維持できるようにレベルを上げることはもちろんであるが、ほかに、アンサンブルの向上に役立つ曲を入れるとか、馴染みが少ないものの、いい曲を入れることや、地元出身の演奏家との共演などイベント的な意味づけも加味することが必要だろう。演奏の実力を上げるには、「団員が減ってきた」というコメントもあるように、団員数の確保含めて技術的には長期的な面での検討が必要である。さらに言えば、技術的に向上しても、「うまい演奏」はできるかも知れないが、「いい演奏」という評価にはまだ足りない。多少のアラはあっても(まさにこのオケとして)「いい演奏」には何が必要かが、より重要かも知れない。

アンケート全体に共通する点としては、演奏会に来ていただき、アンケートを書いていただいた方が多くが市内ないし近郊ということもあって、従来通りではあるが、従来以上に地域に根付いた演奏会を要望されていると言ってよい。「地元でオーケストラがある」ということ、「生で聴けるということ」などのほか、「子どもも楽しめるような演奏会」の希望や、(多治見の)「ジュニアオケを育ててほしい」という意見があった。地域への貢献という意味では、従来どおり春の文化祭は大事な位置づけであり、これと定期的な位置づけを明確化し、相互に次の回の宣伝を入れる等、アピールしていくのもいいと思われる。